

いわき市 塚前古墳測量調査とその成果

2017年5月10日 福島大学行政政策学類考古学研究室

1. 調査の目的

いわき市小名浜林城字塚前に所在する塚前古墳（福島県遺跡番号 20400627）は、2016年秋にいわき市教育委員会が行った発掘調査によって周堀や埴輪群が確認され、6世紀中ごろ（古墳時代後期中ごろ）の築造と判明した。しかし、発掘調査は古墳周囲のごく一部分にとどまり、その正確な規模や墳形は判明していなかった。そのため、塚前古墳の精細な測量図を作成し、同古墳の意義等を考えるための基礎材料を得ることを目的として測量調査を実施した。

2. 調査主体

福島大学行政政策学類 考古学研究室（代表：教授 菊地 芳朗）

〒960-1296 福島市金谷川1番地 電話 024-548-8276

3. 調査期間

2017年3月14日（火）～23日（木） 実働9日間

4. 調査方法

- ・ 菊地の指導のもと、研究室所属学生9名が作業にあたった。
- ・ 電子平板を用い、100分の1測量図を作成（等高線間隔25cm）。
- ・ 世界測地系、絶対標高にもとづいて作図。

5. 成果

- ・ 測量成果に加え、いわき市教育委員会による発掘成果、地権者が所有する1907年作成の地籍図、現地観察等にもとづくと、塚前古墳は前方後円墳であったと考えられる。
- ・ その規模は、全長95～120m、後円部直径53m、前方部長54～70m、前方部幅45～65mと推定される。
- ・ この規模は、後期古墳としては東北第1位、東北の古墳全体としても第3位～第8位となる。また、全長120mとした場合、東日本の後期古墳としては第10位、日本列島の後期古墳全体で見ても第20位程度となる。
- ・ 福島県浜通りの古墳としては、第1位ないし第2位の規模となる。浜通りでは、従来、大型の後期古墳が知られていなかったが、その評価を変えるべき成果となった。
- ・ 日本列島の古墳分布北縁地域にあたる東北では、古墳時代後期に大型古墳がほとんど存在しないと考えられてきたが、今調査成果によりその評価を変更する必要性が生じた。
- ・ これら成果を通じ、今後、古墳時代から奈良時代にいたる東北や東日本の歴史を再検討する必要性が生じることになった。

提供写真・図説明

写真 塚前古墳全景（北西から 福島大学考古学研究室撮影）

写真 塚前古墳航空写真（南東から 小泉能仁氏提供）

写真 塚前古墳測量調査作業風景（南から 福島大学考古学研究室撮影）

図 塚前古墳測量図（福島大学考古学研究室作成）

図 塚前古墳墳丘復元図（福島大学考古学研究室作成）

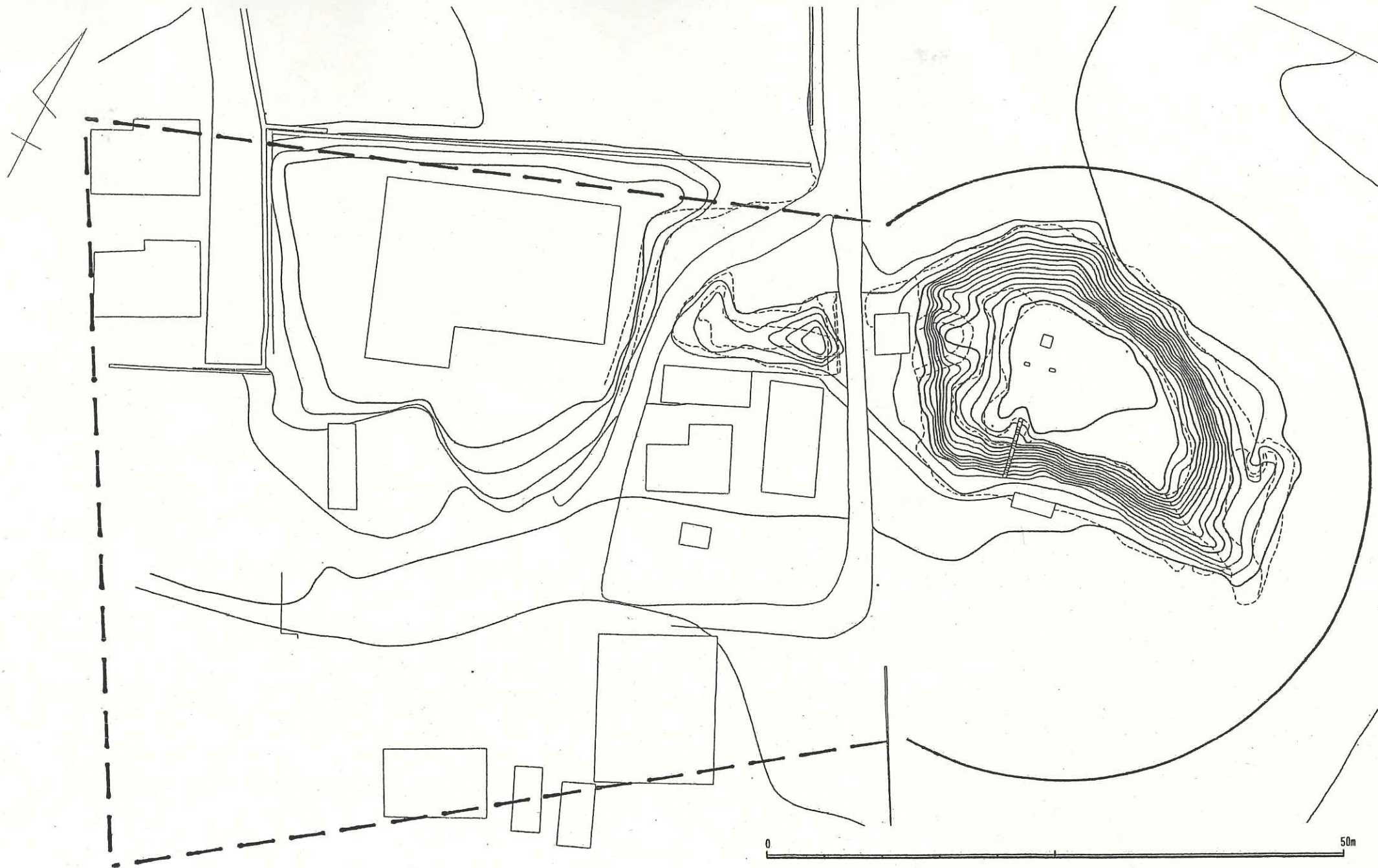
※測量図・復元図は編集途中のものであり、今後変更が生じる可能性があります。











東日本の後期大型古墳一覧

(『武射 経僧塚古墳 石棺編 報告』早稲田大学経僧塚古墳発掘調査団 2010 年をもとに作成)

順位	古墳名	所在地	墳長(m)	時期
1	断夫山古墳	愛知県名古屋	151	6 世紀前半
2	七輿山古墳	群馬県藤岡市	146	6 世紀前半
3	埼玉二子山古墳	埼玉県行田市	142	6 世紀前半か
4	遠見山古墳	群馬県前橋市	130	6 世紀初頭か
5	駒寄村 11 号墳	群馬県吉岡町	130±	6 世紀か
6	吾妻古墳	栃木県壬生町	128	6 世紀後半
7	上武士天神山古墳	群馬県伊勢崎市	127	6 世紀前半か
8	荷鞍山古墳	群馬県伊勢崎市	126	6 世紀後半
9	三条塚古墳	千葉県富津市	122	6 世紀末
10	真名板高山古墳	埼玉県行田市	120	6 世紀後半
	旧九合村 60 号墳	群馬県太田市	120	6 世紀後半
	・			
	・			
38	金玲塚古墳	千葉県木更津市	95	6 世紀末
	旧九合村 57 号墳	群馬県太田市	95	6 世紀後半
	赤岩堂山古墳	群馬県前橋市	95	6 世紀末
	・			
	・			
117	下総塚古墳	福島県白河市	72	6 世紀後半

(参考) 西日本

1	河内大塚古墳	大阪府羽曳野市	335	6 世紀中ごろ
2	見瀬丸山古墳	奈良県橿原市	318	6 世紀後半
3	今城塚古墳	大阪府高槻市	190	6 世紀前半
4	平田梅山	奈良県明日香村	140	6 世紀後半
5	岩戸山古墳	福岡県八女市	138	6 世紀前半
6	ウワナリ塚古墳	奈良県天理市	128	6 世紀前半
7	別所大塚古墳	奈良県天理市	125	6 世紀前半
8	新木山古墳	奈良県郡山市	123	6 世紀
9	野中ボケ山古墳	大阪府藤井寺市	122	6 世紀初頭
10	西乗鞍古墳	奈良県天理市	120	6 世紀